



レンゲ田

鈴木やす子市議宅の田んぼ計3haほどで、レンゲソウの花が咲き始めました。写真は、レンゲ田にムギで描いた迷路がある田。

4月13日、日本共産党中央議団では、予定されている全国一斉学力テストについて、市教育委員会に「個人名の記入はせず、番号制の導入を検討せよ」との申し入れをおこないました。

教育長は、実施11日前の時点で「テストの細かいことや実施方法についてもまだ充分なことが知らされて

市議団が申し入れ
いない。現状では、実施する場合に厳正に慎重におこなうとしか言えない」との対応でした。さらに、申し入れがあつたことを県などに伝えるよう重ねて要望しました。

列化するものとして廃止された経過があります。

今回も、「個人・学校・地域の序列化ができ教育格差の悪循環が進む」、「全国学力テストは学校や自治体がおこなう教育を国が考える枠組みで評価するもので、学校教育がこれまで以上に競争主義的になる」といった危惧が数多くの識者から出されています。

託されます。文科省と一部企業が子どもと学校の情報を握り、受験産業と一緒になった国による管理統制につながりかねない問題点も指摘されています。

なお、費用としては計67億円（06年度18億円、07年度49億円）の税金がかかります。学力テストで民間企業が巨額の利益も得ることになります。

雨情記念館 特別企画展 「雨情と晋」

市歴史 料館 記念館 て、特 「雨情 が4月 始まり 同館の

文民俗資料館
野口雨情
）において
別企画展
と晋平」
18日から
ました。
めいさつ

野で大きな業績を残した野雨情は、北原白秋・西条八十とともに童謡民謡詩人の三巨匠と呼称されました。一方、中野市が生んだ偉い作曲家中山晋平は「カチュシャの唄」や大正4年に開催した芸術座第5回公演の劇曲歌であった「ゴンドラの唄」で有名になりました。今回は作詞家・野口雨情と作曲家・中山晋平とのコンビ

一斉学力テストは番号制で

教育委員会に党市議団が申し入れ

北漢城民報

日本共産党
北茨城市委員会
通話料: 電話 1033-2

毎週日曜日発行
インターネットでも
ご覧いただけます。
<http://www.jrc-1.jp.com>

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

るものとなっています。さらに学校に対する調査もあります。

日本共産党は「子ども、学校間に過度の競争とふるいわけを強いる。子どもの心を傷つけ学校嫌いをひろげ、すべての子どもに基礎学力を身につけさせたい」という願いに逆行する「として、中止を要求しています。

茨城県教育委員会では、
山中たい子県議の問い合わせに「各教育委員会の自主的判断で選択できる。県内では13市町村が番号制で実施される」と回答しました。
すでに、東海村、大洗町、古河市、石岡市、牛久市、つくば市、かすみがうら市が氏名を記入しないで番号制で行うことを明らかにしています。

名コンビによる「全国ご当地ソング」マップ

ければ幸いです。

また、当市北茨城と中野市は、昭和55年に姉妹都市を結んでいることから、中野市に伝わる郷土玩具の土人形や中野市の紹介も併せてせて展示いたしますので、ぜひご覧下さってください。



晋平が描いた雨情の似顔絵